
たたたっ！

不知火 暁

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

たたたっ！

【Nコード】

N7212R

【作者名】

不知火 暁

【あらすじ】

はしゃいで走る、テンション高い子。
走った後に、見えたモノ。

走った。

何故か。

気分が高揚してたから。

たんた たたた たんたたたっ！

良い音。

良い音。

人にぶつかりそうになって、慌てて避ける。

避けた。

避けた。

ぶつからなかった。

階段を踏み外して、落ちそうになった。

大丈夫。

大丈夫。

軽く跳んで、軽く飛んで、ふわりと着地。

うん。

いい気分。

夢気分。

なんで気分が高揚してるんだろう？

きつと、面白いクイズの答えが分かったから。

きつと、先生が自分で手に持っている眼鏡を一生懸命探していたか

ら。

きつと、壁の汚れが顔に見えたから。

きつと、小説で面白いシーンがあったから。

きつと、チューリップの芽が出てきていることに気が付いたから。

きつと、友達が私の話で爆笑してくれたから。

小さなことで。

くだらないことで。

どうでもいいことで。

なんてことないことで。

私はすごく、楽しくなった。

それで、走り出してしまった。

たっ たか たっ たか たん たん たん たた たっ たん

うん。

気分が良い。

自然と笑顔も出てきた。

このまま、海の上を走って渡れる気がする。

やらないけど。

笑って走る私を友達がきもいと言った。

確かに。

あはは。

笑える。

きもいね。

うん。

へん。私、変。

あはははは。

明日も走ろう。

にやけないようにしなきゃ。

友達にきもいなんて言われたくないもんね。

気分は百メートル走九秒台！

響く足音。

良い音。

良い音。

た た た た

た た た た

た た た た

た た

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7212r/>

たたたっ！

2011年10月8日15時44分発行